

注目ブランド大特集

OPPOが最先端を走

今ハイレゾを楽しみたい、また楽しんでいる方すべてに知ってほしいブランドが「OPPO Digital」だ。2004年の創業以来、開発力の高さから、良質な製品を矢継ぎばやに誕生させる気鋭のブランドだ。ヘッドホン関連製品でも最新技術を奢り、シーンの最先端を行くトップランナーである。今回はそんなOPPO Digitalの注目製品から、人気の秘密を探ってみよう。

取材・文／山本 敦(オーディオ評論家) 写真(メイン)／田代法生

01 温故知新の平面ドライバーを最新技術でリニューアル!



NEW
NEW

Hi-Res
AUDIO

ハイレゾ対応ヘッドホン
OPPO Digital
PM-3

¥OPEN ▶投票 No.101

SPEC ●型式：密閉・平面磁界駆動方式
●ドライバー口径：55mm ●再生周波数帯域：10～50,000Hz ●インピーダンス：26Ω ●ケーブルの長さ：1.2m ●質量：320g(ケーブル含まず) ●付属品：交換用ケーブル(3.0m ※ブラック、ホワイトのみ)、キャリングケース

る秘密を探る

BRAND



カリフォルニア発のブランド

「OPPO Digital」はアメリカ、カリフォルニア州に本社を構えるエレクトロニクスメーカーである。高級ブルーレイプレーヤーを開発することでも知られ、いち早くトレンドを盛り込み、時代の先を行く製品づくりを行っている。

トレンドを網羅するPM-3



所有欲を刺激する スマートなデザイン

ポータブルヘッドホンらしいコンパクト&軽量設計。柔らかいイヤークッションとヘッドバンドによる心地よいフィットを実現。エレガントなブラックとホワイトに、ビビッドな色合いで個性も主張できるブルーとレッドが加わった。



独創技術を盛り込み ハイレゾサウンドを実現

本機のために開発された平面磁界駆動型ドライバーユニットには、55mm口径の小型・軽量な真円形振動板を採用。スパイラル形状の両面駆動コイルを配置して、類い希な高い駆動力とスムーズなレスポンス性能を獲得した。



AKシリーズなどに最適な バランスケーブルも新登場

2.5mmの4極端子を搭載したOPPO純正のバランス接続用ケーブル「OPP-25BHC-1」も新登場。AK380と組み合わせると通常ケーブルと聴き比べてみると、セパレーションが上ってダイナミックレンジに余裕が生まれるのがわかる。

PM-3

HA-2

HA-1(P)

平面磁界駆動型の魅力を、ポータブルで楽しめる

OPPO Digital社(以下、OPPO)は、米シリコンバレーに拠点を置くオーディオ・ビジュアルのイノベーターだ。最先端の技術やサービスを常にいち早く自社製品へ貪欲に取り込んできた姿勢は、多くのファンから熱烈な支持を集めている。そのOPPOがヘッドホンとその周辺機器の市場に参入してから早くも1年が過ぎたが、今や全国のヘッドホン専門店、およびポータブルオーディオに注力する量販店に、同社の製品展示が一気に広がっている。

OPPOの先進性と独自性を語るうえで、同社が初めて発売したヘッドホンがいきなりトップエンドのハイエンドモデルであったことに加えて、開発や製造に高い技術力とノウハウが求められる平面磁界駆動方式から着手し、しかも大きな成功を収めていることに注目したい。特にフラッグシップの「PM-1」の発売から間髪入れず、約半年後に登場した密閉型ポータブルヘッドホン「PM-3」はヘッドホンの歴史に名を刻む注目モデルだ。

本機は一般的なダイナミック型とは異なる、平面磁界駆動型と呼ばれる、音を鳴らすための振動板の形状、ドライバーの駆動方式を採用したヘッドホンだ。従来、平面磁界駆動型のヘッドホンは歪

みが少なく音質のメリットが多い一方で、能率が低く十分な音量が得にくい、アウトドアでの使用には不向きとされていたが、本機ではドライバーの駆動力を高めて効率よく振動板に伝える独自技術により、ケタ外れなほどの能率のよさを獲得。低インピーダンス設計と合わせて、スマホにつないだポータブルリスニングでも、その滑らかでつながりのよいサウンドが楽しめる画期的なヘッドホンだ。

ケーブルは着脱式で、汎用性の高い3.5mmステレオミニプラグに対応する。純正グラウンドセパレート接続ケーブル「OPP-35BHC-1」に交換してOPPOのポタアン「HA-2」に接続すれば、4極グラウンド分離出力により、セパレーション、透明感、広大な音場表現がさらに一皮剥ける。まさに相性抜群の組み合わせだ。

平面磁界駆動型ならではの自然な滑らかさと微細なニュアンスを描きわける巧みな表現力に加えて、ダイナミック型のヘッドホンに近いメリハリと切れ味のよさを併せ持つサウンドだ。ボーカルはまるで生声と同じような生気に満ちている。ロックのビートは打ち込みが深くしなやか。この生命力あふれるサウンドを気軽にアウトドアで楽しめる喜びをぜひ一度体験してほしい。

02

本革デザインが所有欲を満たす 最新11.2MHz DSD対応のポタアン

ポータブルヘッドホンアンプ

OPPO Digital
HA-2

¥OPEN ▶投票 No.102

SPEC ●ハイレゾ音源への対応：あり(最大384kHz/32bit PCM、最大11.2MHz DSD) ●最大出力：300mW(16Ω) ●入力端子：USB-A×1、USB microB×1、ステレオミニ×1 ●出力端子：ステレオミニ×1、ラインアウト×1 ●バッテリー持続時間：約13時間(アナログオーディオ入力時)、約7時間(USBデジタル入力時) ●外形寸法：68W×157H×12Dmm ●質量：175g ●付属品：USB(A-Lightning)ケーブル×1、USB(microB OTG)ケーブル×1、3.5mm-3.5mmステレオケーブル×1、USB(A-microB)データ用および充電用ケーブル×1、VOOC高速充電器×1、シリコン・ゴムバンド×2ほか



Detail



高剛性アルミ合金製のボディに、シボ加工が施された本革カバーを奢っている。その佇まいは高級手帳さながらのスマートさ。また、スマホの給電機能も搭載。緊急時は補助バッテリーとしても使える利便性も兼ね備える。



持ち運びやすさに加えて、ハイレゾ対応もパーフェクト

OPPOの「HA-2」は、今までに発売されたUSB DAC内蔵のハイレゾ対応ポタアンの中で、最もiPhoneとの親和性が高いモデルのひとつであることは間違いない事実だ。もはやポータブルを超えた「ポケットアンプ」と呼ぶべき可搬性とハンドリングのよさに、先端のUSB DACを搭載したことによるハイレゾ再生の高音質、使い込むほどに便利さが実感される数多くの機能を搭載した納得のパフォーマンスが、発売以後多くのユーザーから圧倒的な支持を集めてきた。その証明は、有名ヘッドホン専門店が今年最もよく売れたUSB DAC内蔵ポタアンとして本機を大きく紹介していることにも表れている。

横幅68mm、厚みが12mmという、男女を問わず片手で持ちながら操作ができるほどのスマートなサイズ感の筐体に、最先端の機能を惜しみなく詰め込んだところがまさに「OPPO流」だ。ハイレゾ再生の核となるDACチップには多くのハイエンド・オーディオ製品が採用するESSテクノロジー社の「ES9018K2M」をセレクト。その性能を限界まで引き出しながら、リニアPCMは384kHz/32bit、DSDは11.2MHzに到達するハイレゾ対応を実現した。

iPhoneでは本体付属のUSB-Lightning変換ケーブルを使い、デジタル接続による高品位なハイレゾ再生が楽しめる。同様にハイレゾ対応のAndroidスマホやウォークマンとの接続性も確保されている。本体には3,000mAhの大容量バッテリーが内蔵されているので、スマホに給電しながらバッテリー切れの不安をもとめせずに、心ゆくまで音楽再生が楽しめる。

ヘッドホンアンプのアナログ回路は高品位なパーツを選びながら音質を強化。左右チャンネル独立の差動増幅回路に、TI社のヘッドホンアンプICとAB級電流増幅トランジスターを搭載。駆動力を高めながら、出力段はパーツのペアマッチを図って音楽信号の力強さと品質の両方を磨きあげた。

iPhoneに組み合わせてハイレゾ再生に耳を傾けてみると、音楽の表情が生き生きとして鮮度を増す。元のソースに対してアンプが無駄な加色することなく、自然なバランスを保ったまま原音の魅力を引き出す。組み合わせるヘッドホンやイヤホンの特徴はより色濃く浮かび上がってくる。何よりこのビュアなサウンドが多くのファンを惹き付ける求心力になっているのだろう。

トレンドを網羅するHA-2



iPhone 6/6sの大きさと見事にマッチング

スマホと見間違えてしまうほどスリムな本体。iPhone 6/6sと重ね合わせて程よく収まるサイズ感だ。アルミニウムのボディを本革のカバーで包み込んだ、オーディオの型にはまらないスタイリッシュなデザインだ。



左右チャンネルのグラウンドを分離した設計

アンプ回路から4極仕様のヘッドホンジャックまで左右チャンネルのグラウンドを完全分離した「4極グラウンド分離出力」に対応。専用ケーブル「OPP-35BHC-1」で同設計のヘッドホン「PM-3」に接続すれば格段の高音質再生が狙える。



デスクトップでの用途をさらに広げるUSB DAC

ノートPCにつなげばUSB DACとしての用途も広がる。ヘッドホンはもちろん、3.5mmのライン出力も搭載しているので、プリメインアンプやアクティブスピーカーと組み合わせ、コンパクトなデスクトップ再生環境も構築できる。



据え置き機でさらなる高音質、拡張性を追求するなら…

03 A級フルバランス設計 充実のアナログ部

OPPOの真髓を味わえる名機

フルサイズの単品オーディオと組み合わせるなら据え置き型のヘッドホンアンプ「HA-1(JP)」もおすすめだ。

ESSテクノロジー社のレファレンスDACチップ「ES9018」を搭載し、リニアPCM、DSDともに最高品質のハイレゾ再生に対応。USB以外にも多彩なデジタル入力を装備する。DA変換された音楽信号はフルバランス設計のアナログ回路に送り込まれる。A級動作のパワーアンプ回路は完全対称設計として選別部品の左右ペアマッチも徹底。パワーと質の両方にこだわり抜いたピュアな音楽信号が、OPPOの「PM-1」をはじめハイクラスなヘッドホンの実力を余さず引き出す。

本体背面にはアナログオーディオ出力端子も備え、ステレオブリアンプとして機能させることで、単品コンポーネントと組み合わせて本格的なスピーカー再生環境に発展させることもできる。ユーザーをとことん満足させてくれるOPPOの真髓がここに極まっている。



据え置きヘッドホンアンプ

OPPO Digital

HA-1(JP)



¥OPEN ▶投票 No.103

SPEC ●ハイレゾ音源への対応：あり(最大384kHz/32bit PCM、最大11.2MHz DSD) ●最大出力：2400mW(XLR入力-4ピンXLRバランス出力/600Ω時)、600mW(RCA入力-6.35mm標準ステレオ出力/600Ω時) ●入力端子：USB-A×1、USB-B×1、XLRバランス×1、RCA×1、AES/EBU×1、光デジタル音声×1、同軸デジタル音声×1、Bluetooth(apTX対応)ほか ●出力端子：4ピンXLRバランスヘッドホン×1、6.35mm標準ヘッドホン×1ほか ●外形寸法：254W×80H×333Dmm ●質量：5.9kg

PM-3

HA-2

HA-1(JP)